

令和 7 年度入学試験問題（前期日程）

筆 記 試 験

教育学部 学校教育教員養成課程
中学校教育コース 教科教育専攻
美術教育専修

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は，必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答時間は，120 分である。
4. 試験開始の合図があるまで，問題を見てはいけない。

問 題

先日、学校の校舎が新校舎に建て替えられました。これまで使用してきた旧校舎は、近日中に解体されることになっています。

解体前の旧校舎を最大限に活用した美術の授業を考え、絵や図も使いながら分かりやすく説明しなさい。

注 意 事 項

1. 授業の対象は中学生とする。
2. 対象となる生徒の学年は問わない。
3. 授業はいくつ解答してもよい。
4. 解答用紙は罫線のあるものと無いものがある。どちらかのみを使用してもよいし、両方使用してもよい。
5. 字数や解答用紙の枚数に制限はないが、No. 欄に通し番号を記入すること。

令和7年度入学試験問題（前期日程）

筆記試験

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース 教科教育専攻

美術教育専修

出題の意図

教育学部のアドミッション・ポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていききたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身につけ、思考力、判断力、表現力を持つ人」「沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人」を求めており、その適性の中でも特に美術教育での適性を見るために、筆記試験においては「発想力や鑑賞力、造形教育への関心度」を見ることにしている。

本問では、「解体前の旧校舎」という問題に示された設定の特徴と、その創造的な可能性を独自の着眼点によって柔軟に理解し、それらを美術の教材へと転換できる発想力及び構想力を見る。また、自身のアイデアを文章と絵や図によって分かりやすく説明できる論理的思考力についても見る。